

(様式 2)

令和5年 4月 22日

### 女性の就農環境改善計画

(令和5年度女性の就農環境改善支援事業)

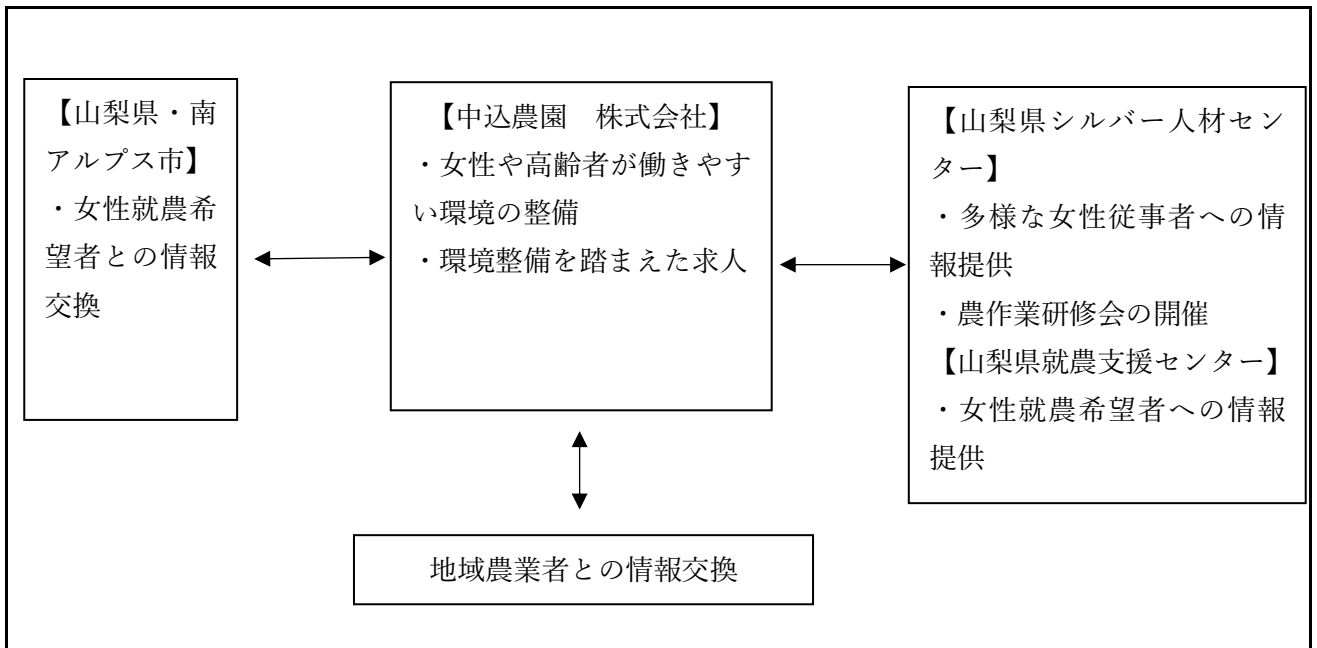
実施するメニュー (該当に○)	第4の(1) (施設等確保の取組)	○
	第4の(2) (グループの新たな取組)	

#### 1 地域取組主体の概要

名称	中込農園株式会社	
所在地	山梨県南アルプス市飯野2281-1	
代表者	中込 一憲・中込一正	
主な組織の事業内容(注)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 事業内容：果樹の生産及び販売、観光農園</li><li>・ 従業員数：社員7名(うち女性1名) パート6名(うち女性3名) 地域おこし協力隊員2名 ボランティア1名(うち女性1名)</li><li>・ 経営規模：約7ha(品目：さくらんぼ、桃、プラム、ネクタリン、梨、ぶどう、柿、りんご)</li><li>・ 農業関連事業：加工品の販売(リンゴジャム)</li><li>・ 離職率低下を狙いとした既存の取組 雨除けハウスの導入による雨天時の作業性向上 ブドウハウス50a サクランボハウス50a 省力化技術の導入による時間外労働時間の削減 桃の低樹高化、ブドウ摘粒作業の削減 年間総労働時間1900時間 短時間労働の導入による多様な人材の確保</li></ul>	女性農業者の 人数：5名

(注) 主な組織の事業内容は、具体的に記載する。

## 2 事業実施体制



(注) 実施に必要な関係機関との実施体制を記載する。

## 3 女性の農業への呼び込み・定着・活躍のための取組計画（実績）

### (1) 地域取組主体における女性の農業への呼び込み・定着・活躍の課題（注）

#### 【社会情勢等を踏まえた地域の女性農業者の課題】

高齢化や担い手不足による耕作放棄地が増加している一方、女性の新規就農希望者や農業へ従事希望の女性が増加している傾向にある。

女性が働く中で、最大の課題はトイレである。ほ場周辺にトイレがない場合、農作業中にも近隣施設や自宅までトイレに行かなければならず、男女共用トイレの場合は利用しにくいなどの課題がある

#### 【現状の労働環境を踏まえた施設等の必要性（既存の施設等の利用状況を含む）】

現在、男女共用のトイレのため、女性従業員はトイレの利用がしにくく、水分を控えたり、我慢したりするなどしており、特に夏場は熱中症など体調面が心配される。

女性用のトイレを設置することで、トイレの心配が解消され、快適に農業に従事することが可能となる。

#### 【その他女性の農業への呼び込み・定着・活躍の課題】

大学生や農林大学校の研修生などを年間通じて延べ60名程度受け入れており、近年は女性の割合が半数を占めている。そうした中で、労働環境の整備は重要であり、トイレの整備は必要不可欠である。

(注) (2)、(3)の取組に係る具体的な課題を記載する。

(2) 女性の働きやすい環境を整備するための託児スペース、男女別トイレ、更衣室等の確保にかかる計画（実績）

確保する施設等の区分		①託児スペース ②男女別トイレ ③更衣室 ④休憩スペース ⑤アシストスーツ、高さが調節できる作業台等の備品の確保 ⑥その他					
区分番号 (注1)	時期	確保場所	数量	利用する 女性農業 者の人数 (注2)	事業費 (千円)	国庫補助金	備考
②男女別トイレ	令和 5年 6月	① もも園場 横 ② さくらんぼ 園場横	2	5	1,953.6	1,776	
計			2	5	1,953.6	1,776	

(注1) 「確保する施設等の区分」から該当する区分番号を選択し、記載すること。また、⑤又は⑥を選択した場合は、確保する施設等の名称も記載すること。

(注2) 農業者は、新規参入者、自営農業就農者（結婚を機に就農された者を含む）、雇用就農者、アルバイト、ボランティア等の農業関連事業を含む年間30日以上従事のものとする。

農業関連事業とは、農産物製造・加工、農畜産物の貯蔵、運搬、販売、農業生産資材の製造、農作業の受託、都市住民等の農作業体験施設の設置・運営や民宿業を含む。（3）において同じ。

(注3) 必要に応じて項目を変えずに行を追加すること。

(3) 女性農業者グループの立ち上げ、グループ活動の開始又は発展のための新たな取組にかかる計画（実績）

取組区分		①商品等開発 ②先進地視察 ③会員募集・農業体験の受入等にかかる取組 ④研修会 ⑤マルシェ開催に向けた取組 ⑥その他					
区分番号 (注1)	時期	内容	実施 回数	参加する 女性農業 者の人数	事業費 (千円)	国庫補助金	備考
計							

(注1) 「取組区分」から該当する区分番号を選択し、記載すること。

(注2) 必要に応じて項目を変えずに行を追加すること。

**【事業成果及び今後の展開】**

※第4の(2)「グループの新たな取組」のみ記載

※区分番号に対応するように記入ください。

※どのようにグループ活動の活性化及び今後の活動に繋がるか分かりやすく記入ください。

※できる限り、数値目標を入れてください。

※商品づくりに関しては、翌年度以降の販売事業計画も併せてご記入ください。

区分番号	事業成果、今後の展開

4 本事業を活用した取組計画 (注)

時期	取組内容・回数	備考
6～12月	<p><b>【女性の農業への呼び込み・定着・活躍のための応募団体における取組（既存の取組を含む）】</b></p> <p>当社では、地域農業の担い手育成として、県外からの移住者を研修生・職員等として受け入れており、これまでに10組受け入れ半数が市内で独立就農している。</p> <p>また、地域おこし協力隊員、農林水産省新人研修の受け入れ、県立農林大学校の学生の研修受け入れ、東京農業大学等の大学生の年間通じた週末農業研修の受け入れを実施している。</p> <p><b>【本事業を活用した取組の実施方針】</b></p> <p>当社は、平成26年に経営規模の拡大を図るため設立し、地域の農地を取得・借入を行い、併せて耕作放棄地の解消も行ってきた。設立当初3.5haだった面積は令和5年2月現在で約7haまで拡大している。</p> <p>今後、成園化に伴い労力不足が心配されるため、女性6名を雇用したいと考えている。</p> <p><b>【具体的に実施する取組内容】</b></p> <p>新規就農希望者の受入 3名</p>	<p><b>【目標】</b></p> <p>女性雇用者 6名</p> <p>女性研修生 30名</p>
6～12月	<p>大学生等の研修受入 40名</p>	

6・10月	女性従業員との意見交換会 2回	
11月	地域農業者との情報交換 1回	
10・12月	関係機関等との情報交換 2回	
令和6年		
1月	女性従業員との意見交換会 1回	

(注) 3の取組を踏まえ、5の目標の達成のために実施する取組内容を具体的に記載する。

#### 5 女性農業者確保の目標 (注)

翌年度末までの女性農業者の新規確保人数 (注)	事業実施年度	3人
	事業実施翌年度	3人
	合計	6人
(女性農業者の新規確保人数の内訳)		
自営農業就業者 1人、雇用就農者 1人、 アルバイト等 4人		

(注) 事業実施年度の翌年度末までの新規確保人数。

#### (参考)

<b>上記女性農業者確保の目標に係る女性の確保の計画</b> (第4の(1)「施設等確保の取組」のみ記載)
<b>【事業実施年度】</b> (取組予定業務) 果樹の生産管理 (採用時期) 令和5年5月 (人数) 3名
<b>【事業実施翌年度】</b> (取組予定業務) 果樹の生産管理 (採用時期) 令和6年5月 (人数) 3名

※必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付すること。

※国が必要と求める資料については、求めに応じ、遅滞なく提出しなければならない。